

2015年7月29日

各 位

オリックス自動車株式会社

自治体の公用車に「オリックス テレマティクス サービス」を導入 ～青森県弘前市「公用車利活用推進事業」の公募で採択～

オリックス自動車株式会社（本社：東京都港区、社長：亀井 克信）は、青森県弘前市が初めて公募した公用車の車両管理システムの導入事業『平成 27 年度 弘前市公用車利活用推進事業 公募型プロポーザルその 3』において、このたび「オリックス テレマティクス サービス」が採択されましたのでお知らせします。8月1日より、本庁舎の公用車全車両 41 台に本サービスを導入します。

『弘前市公用車利活用推進事業』における車両管理システム導入は、本庁の全車共有化による稼働状況の可視化と利用効率の最大化を目的としています。具体的には、①運行管理の省力化（各自パソコンからの車両予約、運転日報の自動記録、運行状況の一元管理）、②効率的運転の実現（取得データに基づく各車両の運行内容の把握と、運行内容の分析による効率的運転アドバイス）、③安全運転の実現（危険挙動の把握と安全運転指導）を行います。本車両管理システムの導入により、‘ムリ・ムダ・ムラ’（※）を「見える化」することで、これまで把握できなかった運転時のリスク分析による事故の未然防止や、効率的な車両運行管理の実現を目指します。

「オリックス テレマティクス サービス」は、通信と GPS 機能を備えた車載機を搭載することにより、運転速度や急加速・急減速などのドライバーの挙動や、燃費、CO₂排出量などの情報をリアルタイムに取得できるサービスです。取得した運行データを活用し、企業の車両管理における『コンプライアンス』『環境』『安全』での課題を可視化するとともに、最適な車両使用と労務管理などのコンサルティングを行うことで、企業のリスクマネジメントを支援しています。

業界に先駆け 2006 年に提供を開始した本サービスの導入台数は、2010 年 3 月末時点の 9,100 台から、2015 年 3 月末時点で 107,000 台へと増加しています。

オリックス自動車は、「車の利用に関するトータルサービス提供会社」として、お客さまの利用形態に対応する「リース」「レンタカー」「カーシェアリング」事業に加え、『コンプライアンス』『環境』『安全』の観点で付加価値の高いサービスの拡充に努めてまいりました。今後も、お客さまにとって最適なソリューションをご提案してまいります。

※ ムリ＝長時間運行、ムダ＝無駄な走行、ムラ＝車両ごとの利用頻度の差 など。

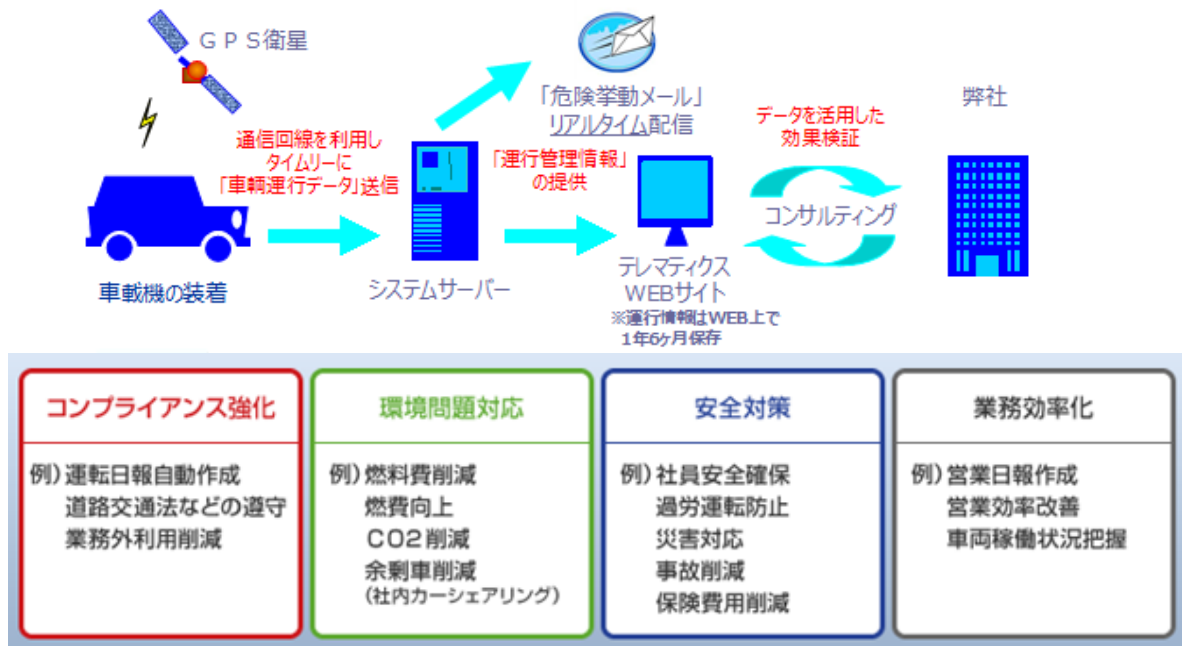
以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

オリックス株式会社 グループ広報部 矢崎・堀井 TEL : 03-3435-3167

【補足資料】

1. オリックス テレマティクス サービス のしくみと効果

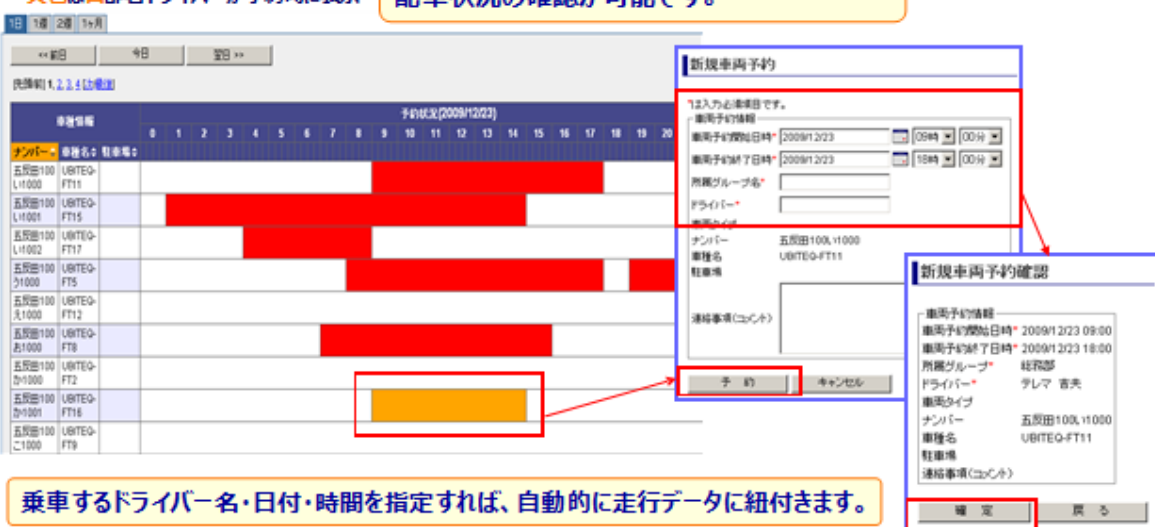


2. 機能一例：「車両予約登録機能」

共同使用する車両において、簡単に『車両予約登録』が可能となります。利用者が一目で全車両の使用状況を確認することができるため、職員間での庁舎内カーシェアリング運用が可能となります。

※赤色は他部署ドライバーが予約時に表示
黄色は自部署ドライバーが予約時に表示

職員であれば、「いつでも」「誰でも」Web上で配車状況の確認が可能です。



乗車するドライバー名・日付・時間を指定すれば、自動的に走行データに紐付きます。